



学校評価だより

～中間自己評価～

令和6年10月 発行

珠洲市立宝立小中学校

令和6年度中間期の学校評価として、児童生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。また、学校関係者評価委員の方々に授業や行事を見ていいただきました。先日の評価委員会での協議、また1学期にとらせていただきましたアンケートの結果や自己評価の結果（裏面）も踏まえて、今後の取組についてお知らせいたします。
今後の取組を進めるにあたり、ご家庭にご協力いただくこともございますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

本校の教育目標

ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す児童生徒像

◇確かな学力を身に付けた子（知育）

◇思いやりがあり心豊かな子（徳育）

◇健康・安全を育み守る子（体育・食育）

本校の重点目標

『自律的な学習者の育成』

重点目標



(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

(2) 思いやりがあり心豊かな子の育成

(3) 健康・安全を育み守る子の育成

(4) 魅力ある学校づくりの推進

本年度重点事項



(1) 学んだ知識を活用し、自ら考え、行動できる見方・考え方を持った児童・生徒の育成

(2) 自己管理能力、自らコントロールする力の育成

(3) 体力向上の取組の充実

(4) 学びを実感できる児童・生徒会活動の創造

《結果・分析》
○授業では、教師は課題解決に向けて、児童生徒に見通しをもたせるような工夫をして取り組んでいます。また、児童生徒は自分で考え、しっかりと課題解決に向けて取り組んでいます。【児生2, 教I-3】
○保護者から「授業がわかりやすいように工夫していると思うか」については十分な理解を得ています。

【保9】

▲家庭学習におけるICT端末の効果的な活用については、学年が上がるにつれて肯定的な回答が少なくなっています。【児生6, 教I-7】



《改善策》

- ◇授業では、学びの整理となる振り返りの時間を確実に設定するように授業を組み立てます。
- ◇習ったことを生かしていることが実感できるように既習事項や本時で使う考え方を確認しながら学習を進めます。
- ◇テスト週間には、eライブラリーの課題を中心に週末課題として出すなど、計画的に取り組ませます。

《結果・分析》

○挨拶を含めた「あいどる+下足」、自問清掃に関する回答は、児童生徒も教職員も概ね肯定的な回答であり、自主的に取り組んでいます。一方、保護者は家庭での様子からB判定となっています。
【児生10・13, 保2, 教II-1・2・3】
○交通ルールは守られています。【児生19】
▲インターネット機器に関する項目「機器を預けている」「ルールを守っている」では、児童生徒、保護者ともに学年が上がるにつれて、「預けている」「守っている」の割合が低くなっています。
【児生17・18, 保7・8】



《改善策》

- ◇スマートフォンの使い方について継続的に指導していきます。
- ◇家庭に対して、便り等を通してスマートフォンに関する情報を発信し続け、使い方やルールについて協力していただきます。
- ◇挨拶について、本校の挨拶運動の様子から、良かった児童生徒を認めて価値づけ、習慣化を図ります。

《結果・分析》

○学校全体として、適切に食習慣に関する指導が行われていることから、児童・生徒は好き嫌いなく給食を食べています。【児生11, 保4, 教III-1】
▲「睡眠の大切さ」については講話を開設し、児童生徒に推進していますが、効果が表れていません。就寝時刻については学年が上がるにつれ、睡眠時間が少なくなっていますし、後期ブロックでは、12時以降に就寝する生徒も多いようです。
【児生20, 保6, 教III-3】



《改善策》

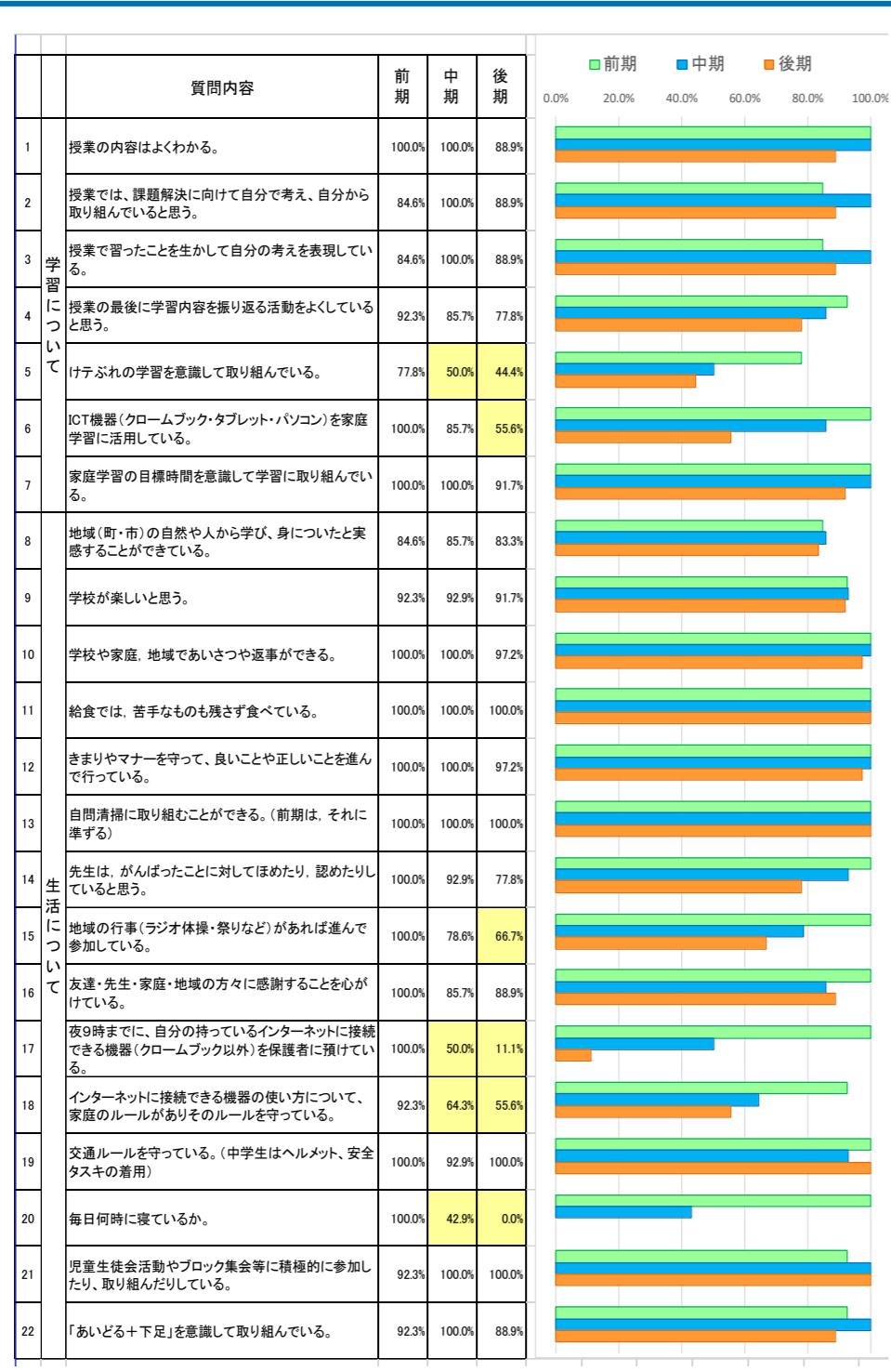
- ◇自然災害により、「基本的な生活の乱れ」や「環境の変化」が見られます。それが要因で、就寝時刻が遅くなっていることも考えられるため、SCや教職員との面談を定期的に行い、児童生徒の心に寄り添う機会を作ります。
- ◇計画的・継続的に指導する機会をつくり、行動化できるように支援します。
- ◇端末機器が生活の一部になっており、睡眠時間にも影響するため、ルールづくりなど保護者に協力を仰ぎ、広報で具体的に知らせます。



《改善策》

- ◇児童生徒会を主に、児童生徒の交流が深まるようなイベントを企画し運営できるようサポートします。
- ◇児童生徒が行事や活動に負担感等を感じていないか把握し、前向きに取り組めるように声掛けや助言をしたりしてサポートします。
- ◇少人数規模の学校であるため、交友関係に限りがありますが、ペアやグループ活動の場面を意図的に増やし、活動を充実させます。

児童・生徒アンケート結果

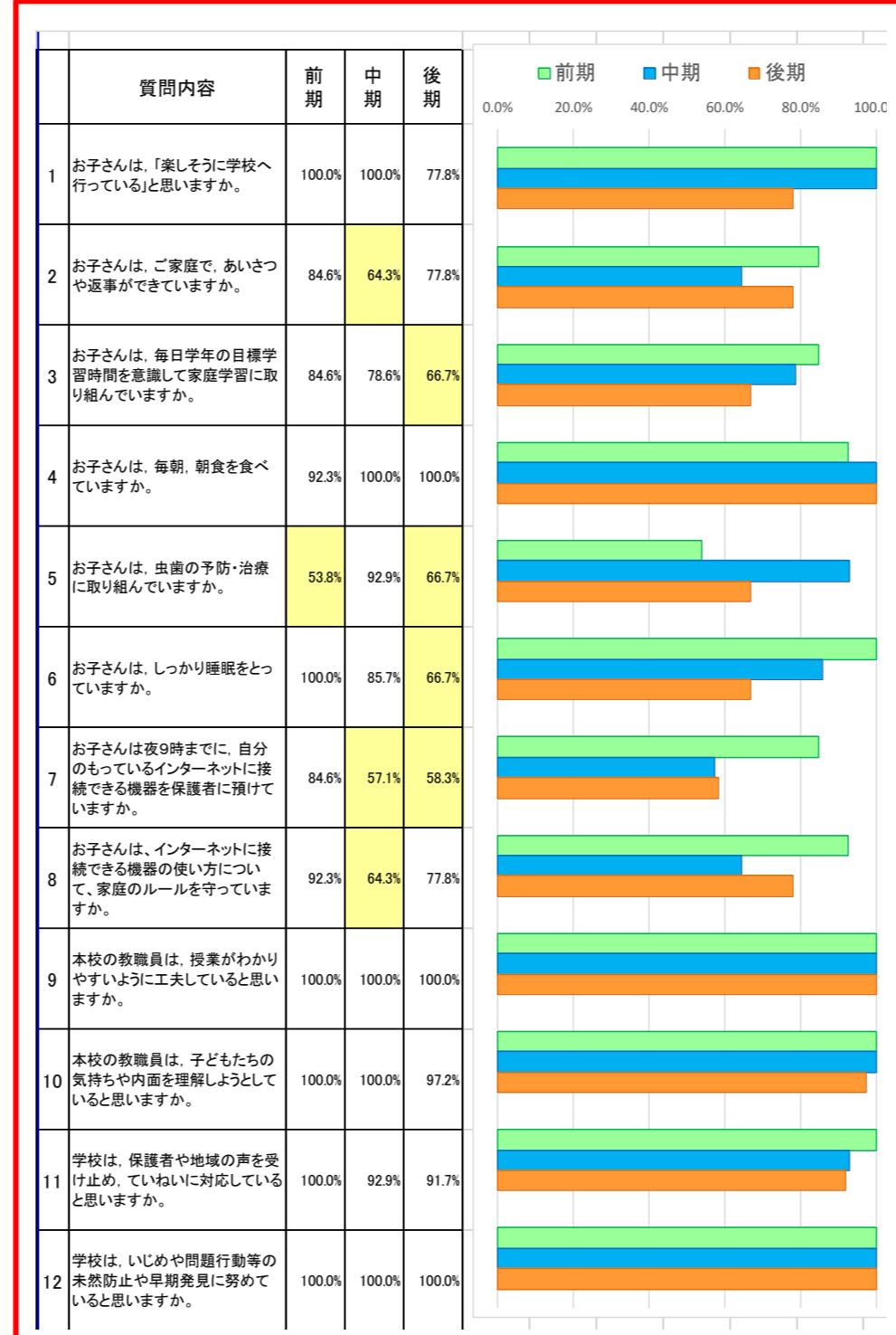


肯定的に回答(4または3)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のように評価しています。また、C評価の項目(黄色部分)については速やかに改善策を考え対応します。

☆児童・生徒アンケート A(前期・中期: 85以上・後期: 80%以上)
B(前期・中期・後期: 70%以上)

C(前期・中期・後期: 70%未満)
☆保護者アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)
☆教職員アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)

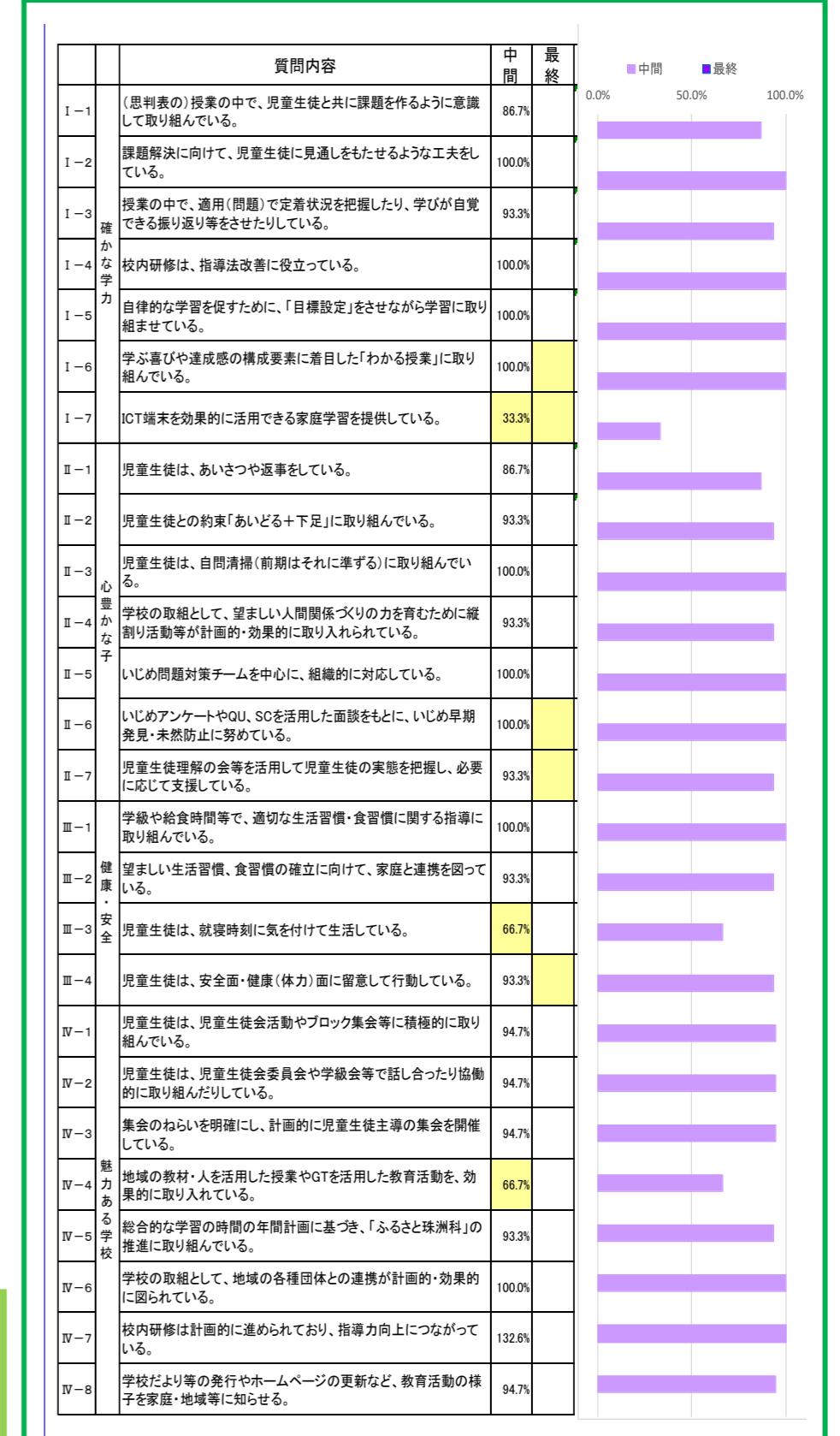
保護者アンケート結果



【学校関係者評議委員からいただいた感想・意見】

- 児童生徒一人ひとりに対する先生方の指導がよい。
- 授業の様子から、ICTを活用し動画も見たりして学習意欲を十分にもたせている。
- アンケート項目の一部見直しをしていかがか? インターネット関係の使用時刻を一律「9時」とせずに、学年段階に応じた表記にしてはどうだろうか。低学年は「8時」など。
- 端末機器との関係で、「睡眠や脳への影響」等についての講話を継続的に実施すればよいと思う。
- スマートフォンの所持についてはアンケート等で学校もしっかりと把握し指導していくことが大事だと思う。
- 学校給食は栄養面で大変助かっているので、ありがたい。子どもたちもしっかり食べており、安心である。

教職員アンケート結果



ありがとうございました。後期に向けて、これらの結果やご意見を踏まえ、学校全体で共通理解を図り、よりよい学校づくりをめざします。今後ともご協力お願い申し上げます。